

第59回東北・北海道地区大学・一般教育研究会に参加して

松嶋 範男

札幌医科大学医療人育成センター 教養教育研究部門

第59回東北・北海道地区大学・一般教育研究会が、平成21年9月3日、4日の両日にわたり岩手大学工学部において、表1のプログラムの内容で開催されました。その参加報告記です。

学生の学力層の広がりやを踏まえ、教養教育や基礎教育を含む一般教育をいかにすべきが全体テーマとして取り上げられました。全体会Iにおいて、平沢安政氏（大阪大学大学院人間科学研究科）が““OECDの報告書「キー・コンピテンシー」が「学士力」に示唆するもの”というタイトルで、中央教育審議会の平成20年12月24日「学士課程教育の構築に向けて」の答申が言及しているOECDのキーコンピテンシーについて基調講演されました。「キー・コンピテンシー」は21世紀型市民に求められる市民力（生きる力）として、次の3つの柱を掲げています。(1) ツールを相互作用的に用いる力、(2) 自立的に行動する力、(3) 社会的に異質な集団で交流する力。平沢教授は斉藤孝著「「できる人」はどこがちがうのか（ちくま新書）」について言及されていました。「できる人」は、「コメント力」、「段取り力」、「まねる、盗む力」に優れているとのことのお話しは、とても興味深く拝聴いたしました。

全体会IIにおける、玉真乃介氏（岩手大学副学長）とポーラ Lindroos 教授（フィンランド・オーポアカデミー大学・生涯教育センター長）の「大学間連携の時代とESD—北欧の取組にも触れて—」の事例報告もとても面白く意義のあるお話しでした。国連が決議した「持続可能な開発のための教育」に関連して、大学間連携プログラムとして歴史のあるバルチック・ユニバーシティ・プログラム（BUP）について説明されました。BUPは、スウェーデンのウプサラ大学が中心となり、「バルト海域の持続可能な発展」を共通の目標とした学士課程、修士課程の教育プログラムです。

また、3つの分科会において様々な実践報告が紹介されました（表1）。松嶋は「初年次教育における授業の工夫」をテーマとした第3分科会に出席しました。本学でも初年次教育を意識した授業（医学部の新生セミナーと21世紀問題群、保健医療学部の保健医療

表1 プログラム

全体テーマ「学士課程教育の構築と一般教育：何のための学士力か」	
総会I	
全体会I	基調講演「キー・コンピテンシー」（OECD）が「学士力」に示唆するもの
第1分科会テーマ「授業の質を高める努力」	
話題提供1	畑から人の健康を学ぶ
話題提供2	学生主体型授業の創造—授業改善から授業開発のFDへ
話題提供3	授業評価等による授業改善の取組
話題提供4	能動的生産者としての学生を育成する—山形大学教養教育科目「なせば成る！～大学生生活始め～」における3つのPBL—
話題提供5	教養基礎教育授業評価における形成的評価
第2分科会テーマ「授業改善を目指す組織的取組」	
話題提供1	専門科目連携を目指す看護学部FD研修会の取組
話題提供2	大学間連携による授業改善ビデオの作成と活用
話題提供3	岩手大学人文社会科学部「イーハトーブ・ミニマム・プログラム」の取組
話題提供4	東北大学全学教育の課題検討PDCAサイクルと「課題解決型」FD
話題提供5	3年目を迎えた「基礎ゼミナール」（工学部の事例報告）
第3分科会テーマ「初年次教育における授業の工夫」	
話題提供1	酪農学園大学「初年次教育を考える会」の取組
話題提供2	理数系少人数教育のためのe-Learningsシステムの開発—ポータブルゲーム機を用いた実験実習支援システム—
話題提供3	初年次での自然科学系教科におけるリメディアル教育カリキュラムの編成と実践
話題提供4	スタートアップセミナーと基幹科目を軸にした初年次教育の改革
話題提供5	医療系総合大学における初年次教育：3つの教育機能の効率的調和を目指して
全体会II	1. 事例報告「大学間連携の時代とESD—北欧の取組にも触れて—」 2. 分科会報告 3. 意見交換
総会II	

総論I) やeラーニングの試みが展開されています。酪農学園大学の和田秀一氏が、酪農学園大学にとっての大学教育への思いを共有するために立ち上げた、有志の集まり「初年次教育を考える会」について報告されていました。和田氏は、教職員集団自身が自主的に「学習する組織」でなければならないことを強調されていました。教職員が自分の専門性にとらわれず、自由に話しあえ議論することができる集団であることがいかに大切であるか。教職員自身がいかに広い教養性が問われているか述べられ、身につまされる思いがしました。

本研究会から、3つのキーワード、“学生の多様化”、“21世紀型市民力”、“持続発展のための教育”が浮かび上がります。本学の目的である優れた医療および保健医療にかかわる医療人育成においても、より広い観

点からの初年次教育を含めた教養教育・一般教育の内容を考える必要があるように思われます。

本研究会の全体会および各分科会における発表の概要は、インターネットをとうしてファイルとしてダウンロードできます (http://uec.iwate-u.ac.jp/News/No59_kenkyukai20090903.pdf)。是非、ご覧なってください。来年の第 60 回一般教育研究会は札幌大学で開催されます。医療人育成センターの多くの教員が、本研究会に参加されることを望んで止みません。